

第 3 次長門市総合計画
策定に係る
市民アンケート調査報告書

令和 8 年 3 月
山口県 長門市

目次

I. 調査の概要.....	- 1 -
II. 回答者の属性	- 3 -
III. 調査結果.....	- 7 -
1 住民意識(住み心地、定住意向について).....	- 7 -
2 定住意向について	- 8 -
定住理由.....	- 9 -
転出理由.....	- 10 -
世代別の傾向(クロス集計).....	- 11 -
▶10代、20代の定住・回帰、転出の声.....	- 12 -
3 分野別満足度・重要度	- 13 -
▶特に満足度が高い項目(上位5つ)	- 15 -
▶特に満足度が低い項目(上位5つ)	- 15 -
▶特に満足度と重要度の乖離が大きい項目(上位5つ).....	- 15 -
▶加重平均グラフ	- 17 -
4 分野別重要度	- 19 -
5 SDGs の認知度	- 25 -
6 自由意見(自慢できること)	- 27 -
7 その他自由意見(長門市の未来)	- 28 -
巻末資料)設問票.....	- 31 -

I. 調査の概要

【調査目的】

長門市では、「第3次長門市総合計画(計画期間:2027(令和9)年度~2036(令和18)年度)」の策定に向け、基礎調査の一環として市民アンケート調査を実施しました。

本調査は、今後10年間のまちづくりの方向性を検討するにあたり、市民の生活実感や行政施策に対する評価、将来に向けた意向等を把握することを目的としています。

対象は、16歳以上の市内居住者の中から無作為に抽出した3,000名とし、郵送(Web回答併用)により実施しました。回答はすべて統計的に処理しており、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。

本報告書では、現行計画に対する評価や分野別の満足度・重要度、今後重点を置くべき分野、自由意見の傾向等を整理し、基本構想および基本計画の検討資料として活用するものです。

区分	内容
調査対象	長門市内に居住する16歳以上の市民
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和7年8月1日~8月29日
配布方法	郵送配布
回収方法	郵送回収、Web回答
配布数	3,000件
有効回答数	1,120件

【留意事項】

回答者は高齢層・長期居住者の割合が高い結果となっています。前回・今回ともに回収率は3割前後で、無作為抽出による市民意向調査として一定の妥当性を有しています。

一方で、回答者は高齢層・長期居住者の割合が高い傾向にあるため、結果の解釈にあたっては年齢構成に留意しつつ整理しています。

【報告書の見方】

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

(1)「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。集計は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。従って回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。

(2)2 つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合があります。

(3)数表、図表、文中に示す「n」は、比率算出上の対象人数=標本数を表しています(その項目で表示されている比率は n 人の中の比率、ということになります)。

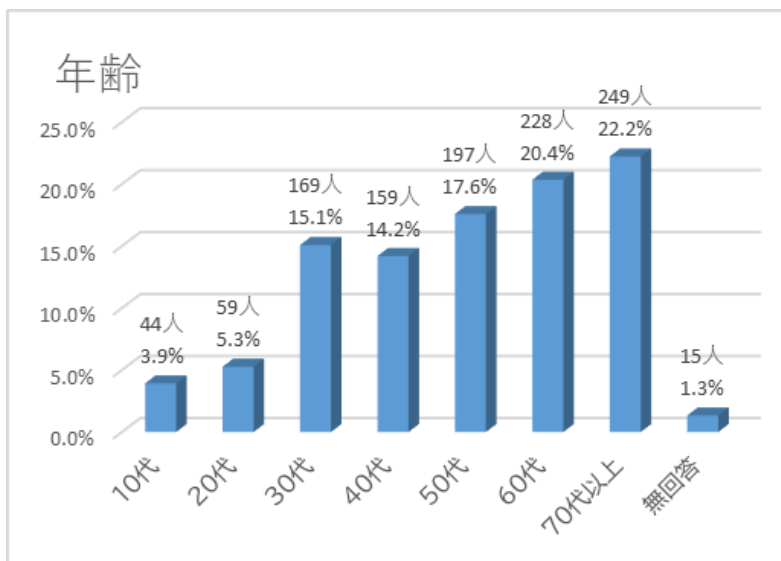
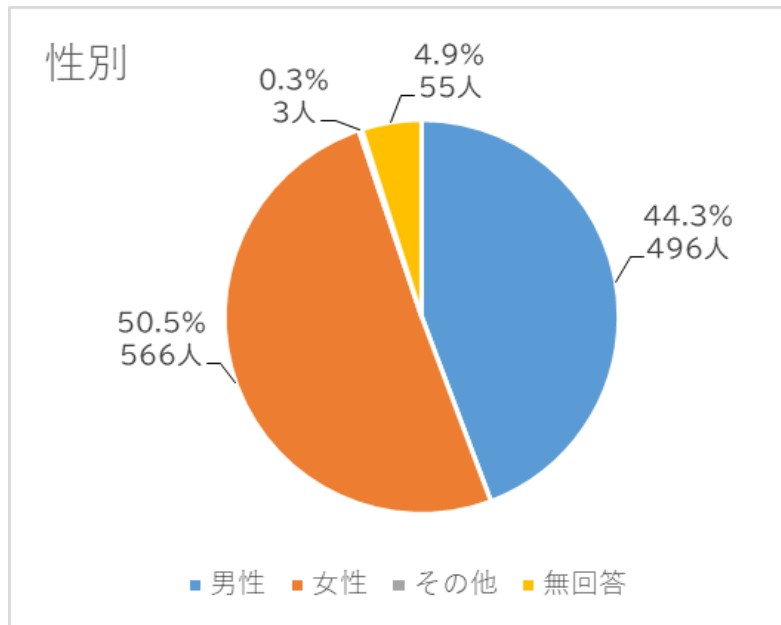
(4)図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの対象人数の合計と全体の対象人数は同じにならない場合があります。

(5)図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は図中では表記していない場合があります。

(6)その他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しています。

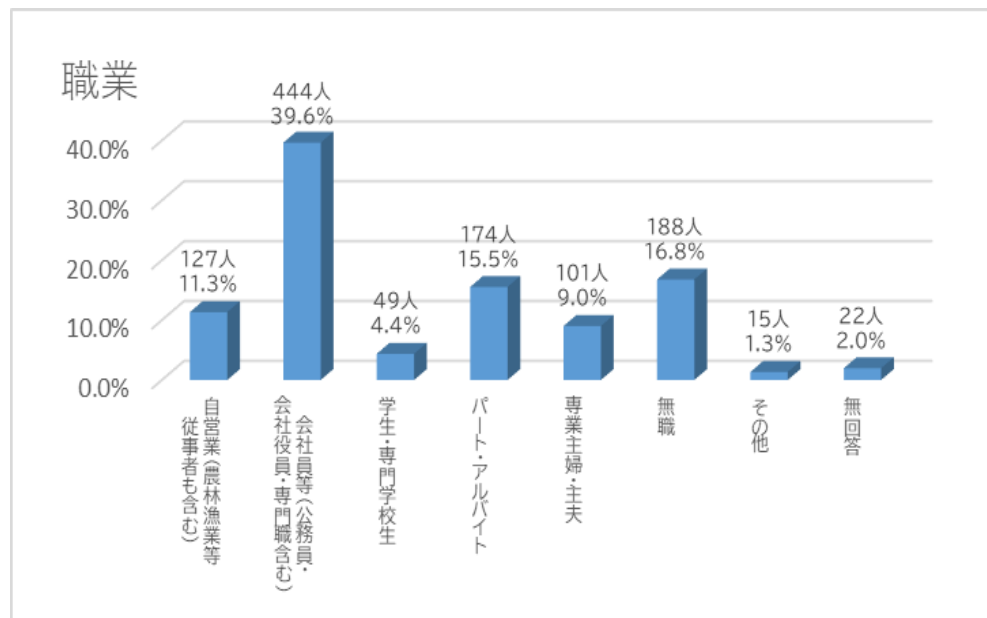
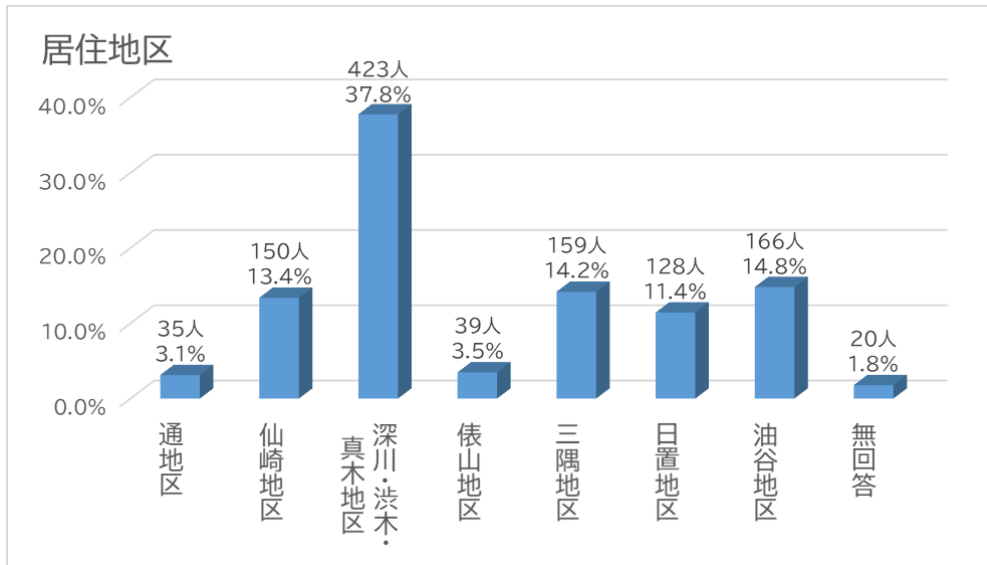
II. 回答者の属性

回答者は男女比がほぼ均等で、50代以上の割合が高い構成です。これは長門市の人口構成を一定程度反映したものと考えられます。一方で、若年層の回答は相対的に少ないため、定住意向については年齢層別のクロス集計を行い、世代ごとの傾向を整理しています。



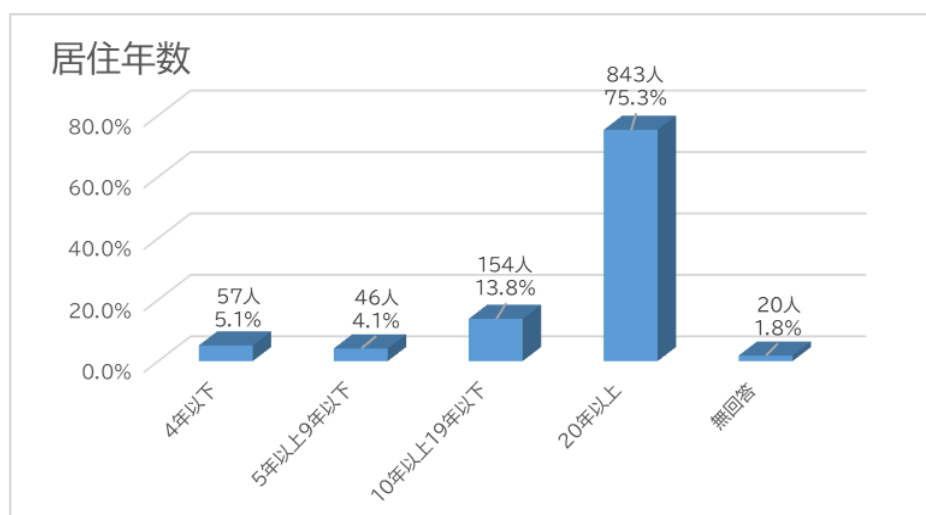
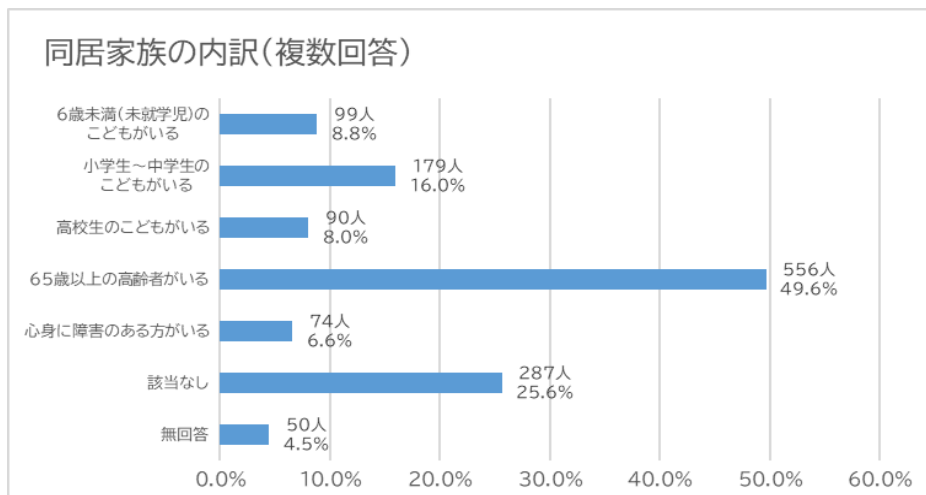
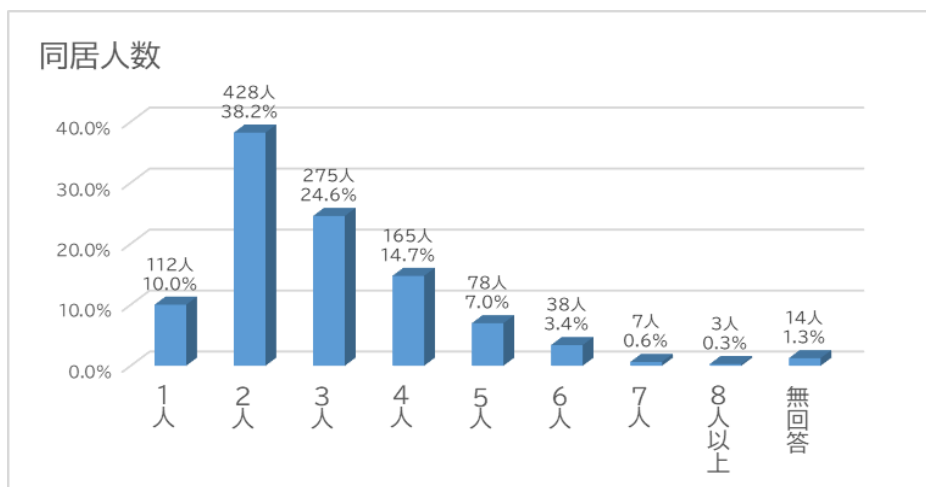
(n=1120)

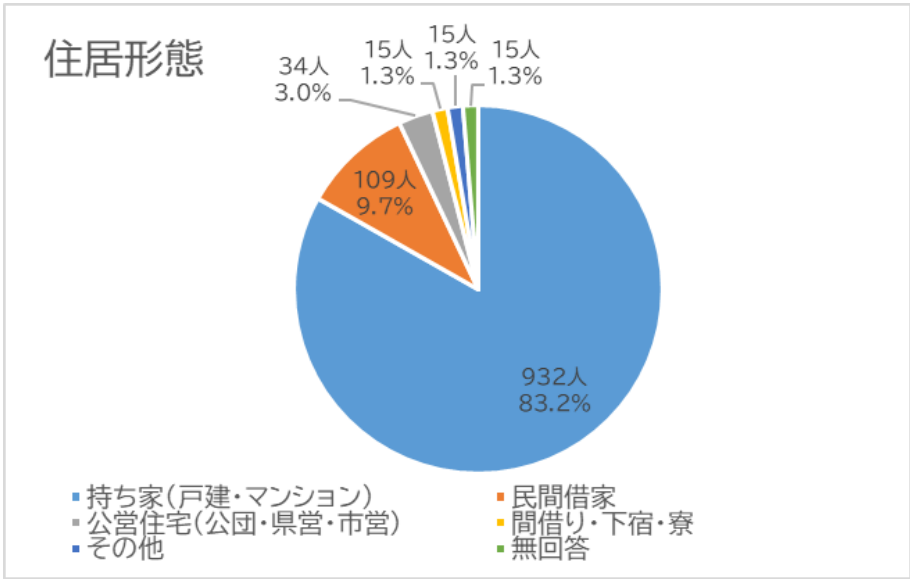
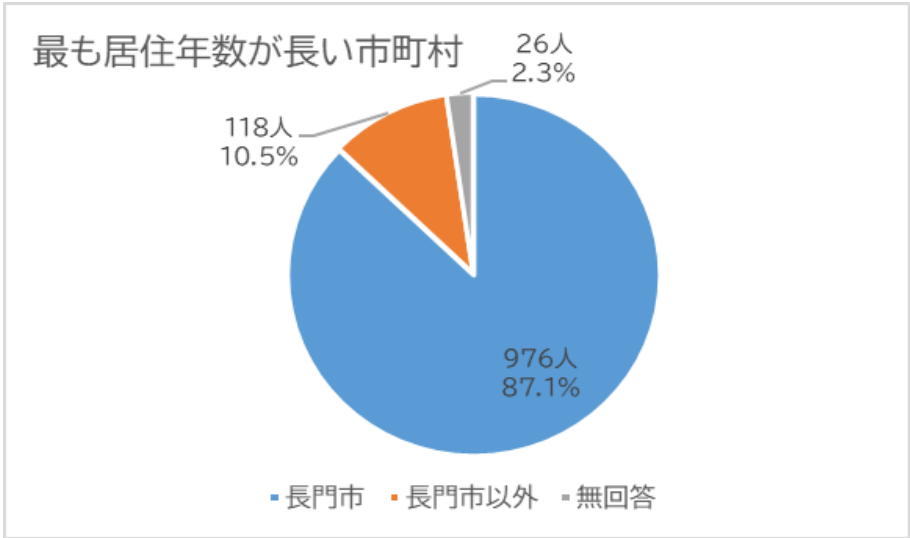
●居住地は深川・渋木・真木地区が最も多く、職業は会社員・公務員の割合が高い構成です。



(n=1120)

●回答者は2～3人世帯が多く、居住年数は20年以上の長期居住者が中心です。





(n=1120)

III. 調査結果

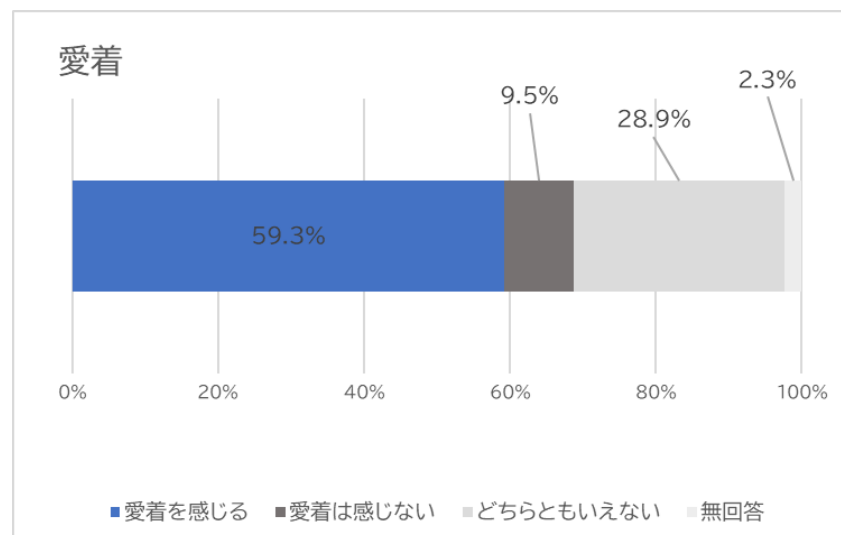
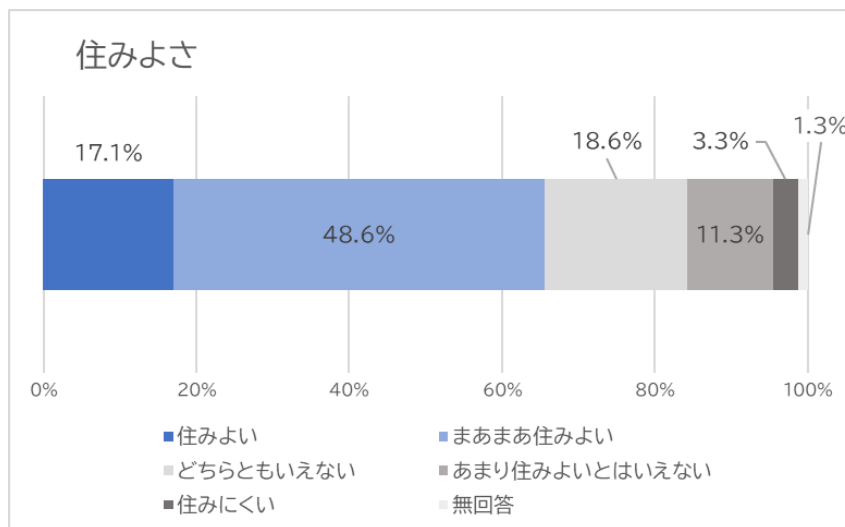
1 住民意識(住み心地、定住意向について)

問2. 長門市は住みよいまちですか。(1つに○印)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあまあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよいとはいえない | 5. 住みにくい | |

問3. あなたは、長門市に愛着を感じていますか。(1つに○印)

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 愛着を感じる | 2. 愛着は感じない | 3. どちらともいえない |
|-----------|------------|--------------|

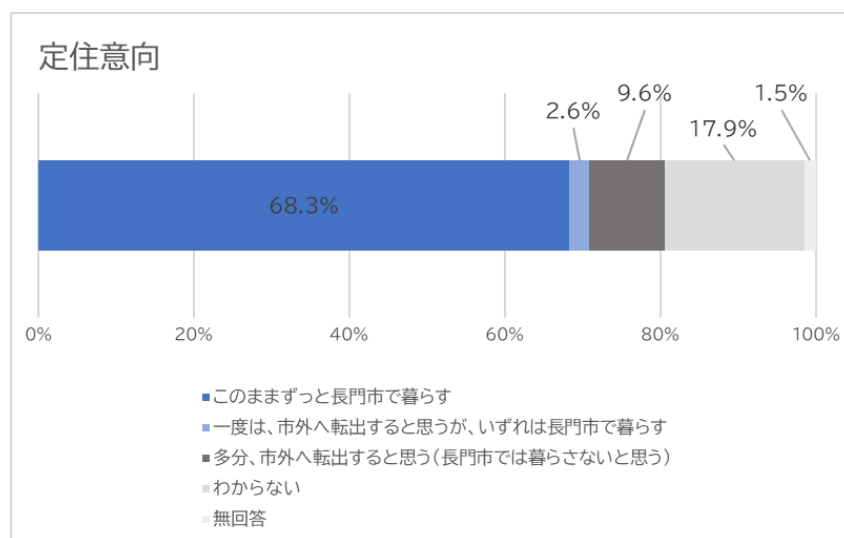


▶住みよさ、愛着といった基本的な住民意識について、全体として肯定的な回答が多く見られます。前回調査と比較して微減はあるものの大きな変化は見られません。

2 定住意向について

問4. あなたは、これからも長門市に住みたいと思いますか。(1つに○印)

1. このままずっと長門市で暮らす
2. 一度は、市外へ転出すると思うが、いずれは長門市で暮らす
3. 多分、市外へ転出すると思う(長門市では暮らさないと思う)
4. わからない

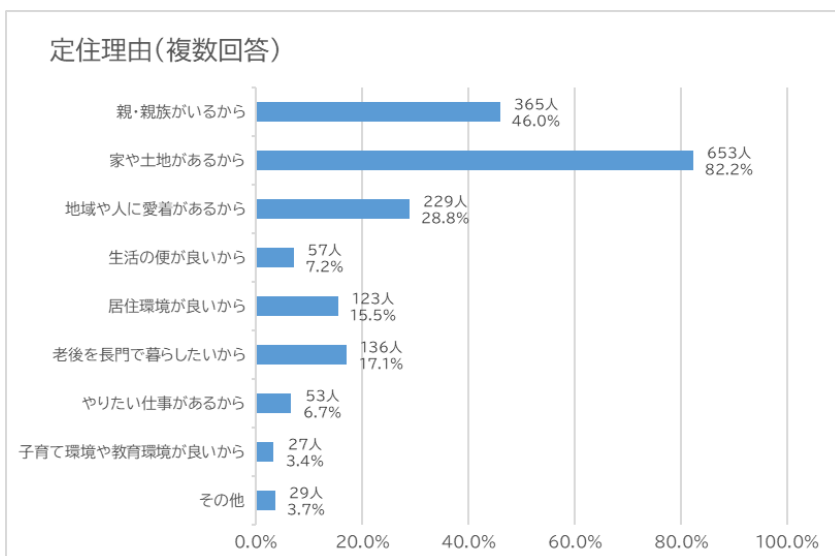


▶「このままずっと長門市で暮らす」と回答した方は 68.3%となっており、最も高い割合を占めています。

これに「一度は市外へ転出すると思うが、いずれは長門市で暮らす」(2.6%)を加えると、将来的に長門市での居住を希望する層は約 7 割となります。

一方で、「多分、市外へ転出すると思う(長門市では暮らさないと思う)」は 17.9%、「わからない」は 9.6%となっており、一定割合で転出意向・未定層が存在しています。

定住理由

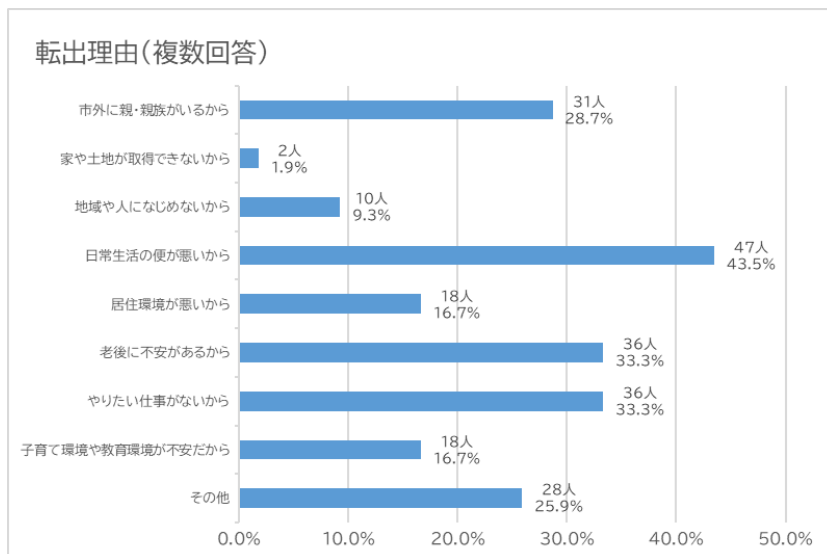


▶定住理由として最も多かったのは「家や土地があるから」(82.2%)であり、物理的・資産的要因が大きいことがうかがえます。次いで「親・親族がいるから」(46.0%)、「地域や人に愛着があるから」(28.8%)となっています。

一方で、「生活の便が良いから」(7.2%)や「やりたい仕事があるから」(6.7%)、「子育て環境や教育環境が良いから」(3.4%)は相対的に低い割合にとどまっています。

定住は、利便性や就業機会よりも、家族関係や居住基盤に支えられている傾向が見られます。

転出理由



▶転出理由では、「日常生活の便が悪いから」(43.5%)が最も高く、次いで「老後に不安があるから」(33.3%)、「やりたい仕事がないから」(33.3%)となっています。

また、「居住環境が悪いから」(16.7%)、「子育て環境や教育環境が不安だから」(16.7%)も一定割合存在しています。

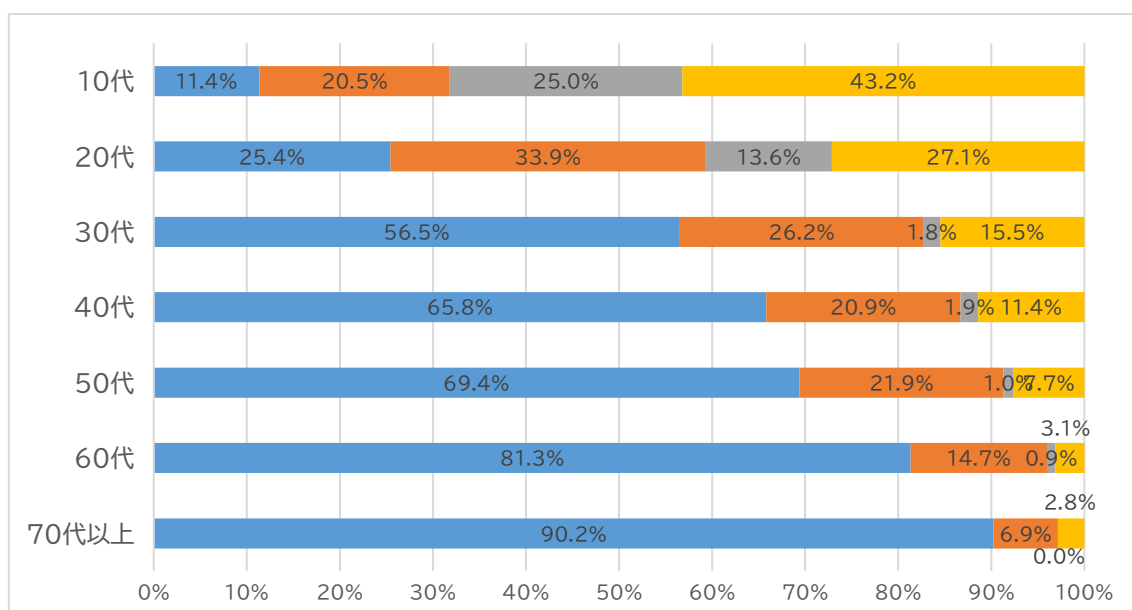
転出意向層では、生活利便性や将来不安、就業機会が主な要因となっていることが分かります。

世代別の傾向(クロス集計)

定住意向は、年齢やライフステージによって大きく異なる可能性があるため、単純集計だけでは傾向を十分に把握できません。

特に総合計画は今後 10 年間の方向性を示すものであり、若年層・子育て世代・高齢者など、世代ごとの意向や課題を把握することが重要です。

そのため、本調査では定住意向を年代別にクロス集計し、世代ごとの特徴を確認しました。



- このままずっと長門市で暮らす
- わからない
- 一度は、市外へ転出すると思うが、いずれは長門市で暮らす
- 多分、市外へ転出すると思う（長門市では暮らさないと思う）

クロス集計の結果、年代が上がるほど「このままずっと長門市で暮らす」と回答する割合が高くなる傾向が確認されました。

一方で、10代・20代では「市外へ転出すると思う」との回答割合が比較的高く、若年層ほど転出志向が強い傾向が見られます。30代以降は定住意向が半数を超え、60代以上では8割を超える結果となっています。

このことから、

- ・若年層は進学・就職等を契機とした転出を想定している可能性があること
- ・年齢の上昇とともに生活基盤が地域に定着していく傾向があることがうかがえます。

世代ごとの傾向の違いは、今後の施策検討において、対象層を明確にした取組の必要性

▶10代、20代の定住・回帰、転出の声

<定住・回帰の理由>

順位	10代の理由(件数)	20代の理由(件数)
1位	親・親族がいるから(11)	親・親族がいるから(12)
2位	家や土地があるから(8)	家や土地があるから(7)
3位	地域や人に愛着があるから(6)	地域や人に愛着があるから(3)
4位	居住環境が良いから(2)	居住環境が良いから(3)
5位	やりたい仕事があるから(1)	やりたい仕事があるから(2)
5位	—	生活の便が良いから(2)

<転出の理由>

順位	10代の理由(件数)	20代の理由(件数)
1位	やりたい仕事がないから(4)	日常生活の便が悪いから(5)
2位	日常生活の便が悪いから(3)	市外に親・親族がいるから(3)
3位	市外に親・親族がいるから(2)	やりたい仕事がないから(2)
4位	老後に不安があるから(1)	転勤／家や土地がない等(各1)

10代と20代の若者が長門市に定住したいと考える最大の理由は親や親族が地元にいるという家族のつながりであり、次いで実家の家や土地といった生活基盤の存在が大きな役割を果たしていることが分かりました。

一方で市外への転出を考える理由については世代間で傾向が分かれており、進路選択を控える10代では地元でやりたい仕事がないというキャリアへの不安が先行するのに対し、実際に社会人生活を送る20代では日常生活の利便性の低さが最大の懸念材料となっています。

3 分野別満足度・重要度

問5. 市の現状について、①満足度、②重要度を分野ごとにおたずねします。それぞれ項目ごとにお答えください。

①あなたは、各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

②あなたは、各項目についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ○をつけてください。

	①満足度					②重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記載例 ○○の整備がされている	1	2	3	④	5	1	②	3	4	5

・本調査では、市政の各分野における住民の満足度と重要度を測定しています。

・測定方法は、5段階評価の「3(普通)」を基準(0点)とした加重平均を採用しており、評価がプラスであれば肯定的、マイナスであれば否定的であることを示し、施策の成果や優先順位を可視化しています。

・また、平成27年度や令和2年度の過去調査結果と比較することで、各分野の満足度がどのように向上したか、あるいは住民の関心がどのように変化したかという推移を把握し、今後の施策改善に役立てています。

<満足度、重要度、経年変化 一覧表>

平成27年度アンケート (第二次総合計画前期)			令和2年度 後期計画		今回アンケート (令和7年度実施)			前回との差分 (満足度向上)		前回との差分 (重要度認識)	
満足度	重要度		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度			
資源のリサイクル対策の充実	0.31	0.92			1	0.47	0.89	0.06		-0.14	
新エネルギー、省エネルギーの推進	-0.13	0.85			2	-0.01	0.76	0.04		-0.12	
ごみの収集・処理対策の充実	0.64	1.17			3	0.78	1.25	0.15		-0.03	
上下水道の整備	0.71	1.21			4	0.68	1.28	-0.04		0.02	
都市公園の整備	0	0.51			5	0.06	0.60	-0.08		0.02	
広域的な道路の整備(国道・県道など)	0.35	1.02			6	0.34	1.12	-0.08		0.05	
市道など地域の生活道路の整備	0.18	1.05			7	0.19	1.16	0.03		0.08	
歩道の拡幅・バリアフリー化	-0.14	0.9			8	-0.11	0.93	0.03		-0.05	
バス交通網の整備	-0.6	0.84			9	-0.55	0.93	-0.05		0.00	
					10	-0.29	0.87				
公営住宅の整備	-0.04	0.34			11	0.05	0.36	0.02		0.03	
消防・防災体制の充実	0.37	1.16			12	0.42	1.19	0.04		0.00	
地震・台風などの災害対策の充実	-0.06	1.19			13	0.10	1.28	0.13		-0.05	
防犯対策の充実	0.00	1.10			14	0.02	1.24	-0.01		0.07	
交通安全対策の充実	0.13	1.05			15	0.20	1.11	0.03		0.01	
棚田や森などの自然環境・環境の保全	0.1	0.76			16	0.14	0.80	0.04		0.04	
まち並み・沿道景観の整備	-0.16	0.76			17	0.06	0.83	0.05		0.09	
企業誘致・雇用の確保	-0.98	1.4			18	-0.52	1.16	0.07		-0.04	
農林業の振興	-0.41	0.96			19	-0.23	0.98	0.00		0.09	
水産業の振興	-0.37	1.02			20	-0.17	1.01	0.11		0.06	
商工業の振興	-0.51	1.05			21	-0.27	0.97	0.09		0.01	
自然・農業などの体験型観光の推進	-0.24	0.61			22	0.01	0.58	0.07		0.04	
温泉など滞在型観光の推進	-0.06	0.95			23	0.25	0.83	0.15		0.08	
イベント・祭りなどの反復型観光の推進	-0.06	0.66			24	0.08	0.72	0.07		0.10	
地域特産物のブランド化・PR	-0.26	1.02			25	0.12	0.91	0.18		0.06	
周辺市との広域観光ネットワークの推進	-0.33	0.86			26	-0.03	0.73	-0.07		0.01	
幼児教育の充実	-0.03	1.07			27	0.16	1.05	0.01		-0.04	
学校教育の充実	-0.03	1.19			28	0.14	1.15	-0.04		-0.02	
生涯学習の充実	0.01	0.81			29	0.13	0.78	0.05		0.00	
スポーツの振興	0.08	0.66			30	0.12	0.66	0.00		0.05	
文化・芸術活動の振興	0.06	0.63			31	0.14	0.65	0.05		0.05	
文化財の保存・活用	0.05	0.69			32	0.22	0.71	0.13		0.06	
地域医療対策の充実	-0.28	1.47			33	-0.34	1.50	-0.09		0.00	
救急・高度医療の充実	-0.32	1.49			34	-0.46	1.50	-0.11		-0.02	
基本健康診査の実施など健康づくりの推進	0.17	1.04			35	0.32	1.22	0.08		-0.03	
地域福祉(地域住民による助け合い活動など)	0.01	0.95			36	0.10	0.96	0.01		-0.01	
保育サービスの充実	0.00	1.07			37	0.12	1.04	0.02		0.04	
地域子育て支援対策の充実	0.01	1.06			38	0.12	1.04	0.03		0.04	
低所得世帯に対する福祉サービスの充実	-0.12	0.87			39	-0.02	0.80	0.03		-0.05	
福祉相談の充実	-0.02	0.84			40	0.04	0.93	0.01		0.07	
人権啓発・人権教育	0.06	0.58			41	0.10	0.55	0.04		-0.10	
男女共同参画の推進	0.05	0.49			42	0.09	0.47	0.06		-0.12	
地域情報化(IT化)の推進	-0.18	0.68			43	-0.02	0.69	0.10		-0.07	
地域間交流の推進	-0.07	0.57			44	0.07	0.51	0.07		-0.03	
国際間交流の促進	-0.14	0.38			45	0.02	0.31	0.05		-0.05	
市政に関する情報提供や情報公開	-0.02	0.86			46	0.10	0.90	0.01		0.00	
市政に関する住民参加の推進	-0.08	0.67			47	0.01	0.71	0.00		0.00	
生活に関する相談窓口の充実	-0.07	0.76			48	0.07	0.83	0.06		-0.01	
健全な財政運営や行政改革の推進	-0.26	0.95			49	-0.05	0.94	0.00		0.06	
地域のコミュニティ活動に対する支援	-0.08	0.64			50	0.05	0.64	0.00		0.03	
ボランティアやNPOなどの育成	-0.08	0.63			51	0.06	0.54	0.06		-0.05	

今回アンケートでは、多くの施策で満足度は前回から横ばいまたは小幅に向上しています。

一方、医療、雇用、公共交通など一部の分野では、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い状況が続いています。重要度については大きな変動は見られず、市民の関心分野は概ね継続していることがうかがえます。

▶特に満足度が高い項目(上位5つ)

順位	項目名	満足度	重要度
1	ごみの収集・処理対策の充実(3)	0.78	1.25
2	上下水道の整備(4)	0.68	1.28
3	資源のリサイクル対策の充実(1)	0.47	0.89
4	消防・防災体制の充実(12)	0.42	1.19
5	広域的な道路の整備(6)	0.34	1.12

▶特に満足度が低い項目(上位5つ)

順位	項目名	満足度	重要度
1	バス交通網の整備(9)	-0.55	0.93
2	企業誘致、雇用の確保(18)	-0.52	1.16
3	救急・高度医療の充実(34)	-0.46	1.5
4	地域医療対策の充実(33)	-0.34	1.5
5	デマンド交通網の整備(10)	-0.29	0.87

▶特に満足度と重要度の乖離が大きい項目(上位5つ)

順位	項目名	満足度	重要度
1	バス交通網の整備(9)	-0.55	0.93
2	企業誘致、雇用の確保(18)	-0.52	1.16
3	救急・高度医療の充実(34)	-0.46	1.5
4	地域医療対策の充実(33)	-0.34	1.5
5	デマンド交通網の整備(10)	-0.29	0.87

※()内は前頁項目番号

<満足度の高い分野>

1. 生活インフラ分野の安定した評価

「ごみの収集・処理」や「資源のリサイクル」は、前回から満足度が大きく向上(+0.15/+0.06)し、全項目でトップクラスの評価を得ています。上下水道を含め、生活基盤の維持・向上については住民から高い信頼を得ています。

2. 子育て施策の着実な進展と維持

注力してきた子育て関連では、「保育サービスの充実」「地域子育て支援」ともに前回から満足度が向上(+0.02/+0.03)しています。重要度が1.0を超える高い期待の中で満足度を伸ばしています。

<満足度の低い分野>

3. 医療・交通分野における期待と評価の乖離

重要度が最大値(1.50)である「救急・高度医療」や「地域医療」は、前回調査から満足度がさらに低下(-0.11/-0.09)しており、住民の需要に対する供給や実感が追いついていない状況が鮮明になっています。バスやデマンド交通も同様に満足度が低く、移動手段への課題が継続しています。

4. 雇用・産業振興への改善要望

「企業誘致、雇用の確保」は、前回比で満足度がわずかに向上(+0.07)しているものの、依然として全項目中でワースト2位の低水準にあります。生活基盤となる仕事づくりへの期待に対し、さらなる注力が求められています。

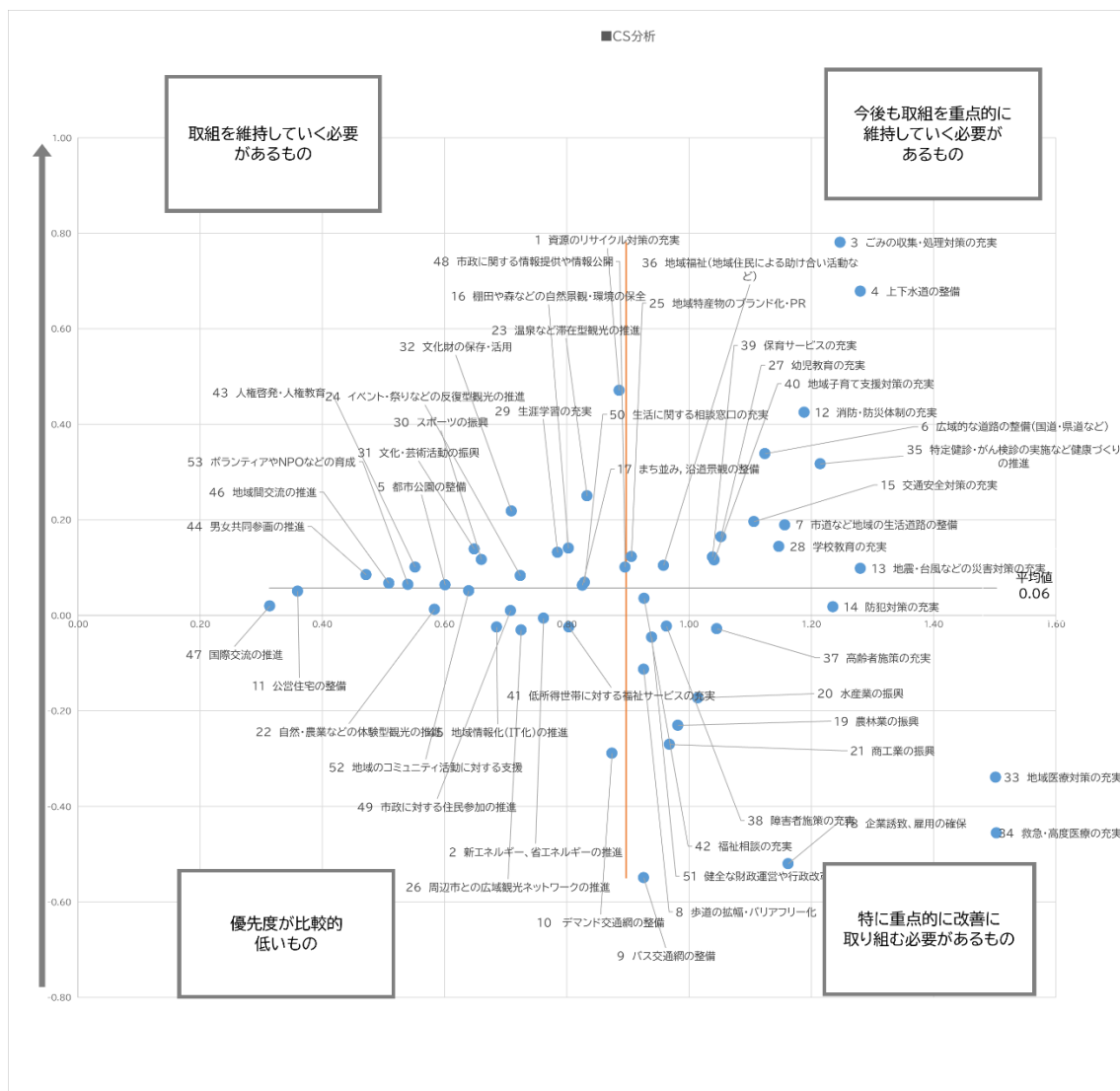
▶加重平均グラフ

【施策満足度・重要度のグラフ】

以下のグラフは、縦軸に満足度、横軸に重要度を設定し、各取組の加重平均値を算出し、AからDの4つの性格を持つ領域に整理区分し、満足度と重要度の相関関係を表したものです。

※相関図の見方

図の上側にあるほど満足度が高く、右側にあるほど重要度が高いことを示しています。



●生活インフラ・防災・子育て分野は重要度が高く、満足度も比較的高いことから、今後も重点的に維持すべき分野に位置づけられます。

●医療・高齢者施策、雇用・産業振興は重要度が高い一方で満足度が低く、特に改善が求められる分野です。

●文化・交流・人権啓発等の分野は満足度は一定程度あるものの重要度が相対的に低く、取組を維持しつつ優先度を見極める分野と考えられます。

●交通・DX・エネルギー関連は重要度・満足度ともに相対的に低い位置にありますが、今後の社会環境の変化等を踏まえ、中長期的な視点から必要な取組を検討していく分野として整理されます。

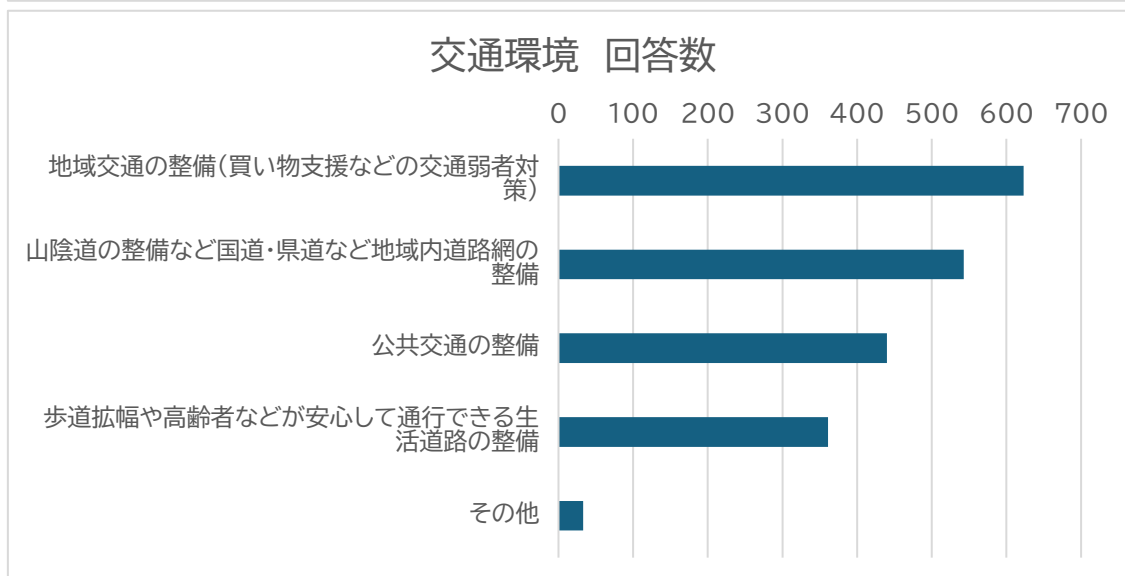
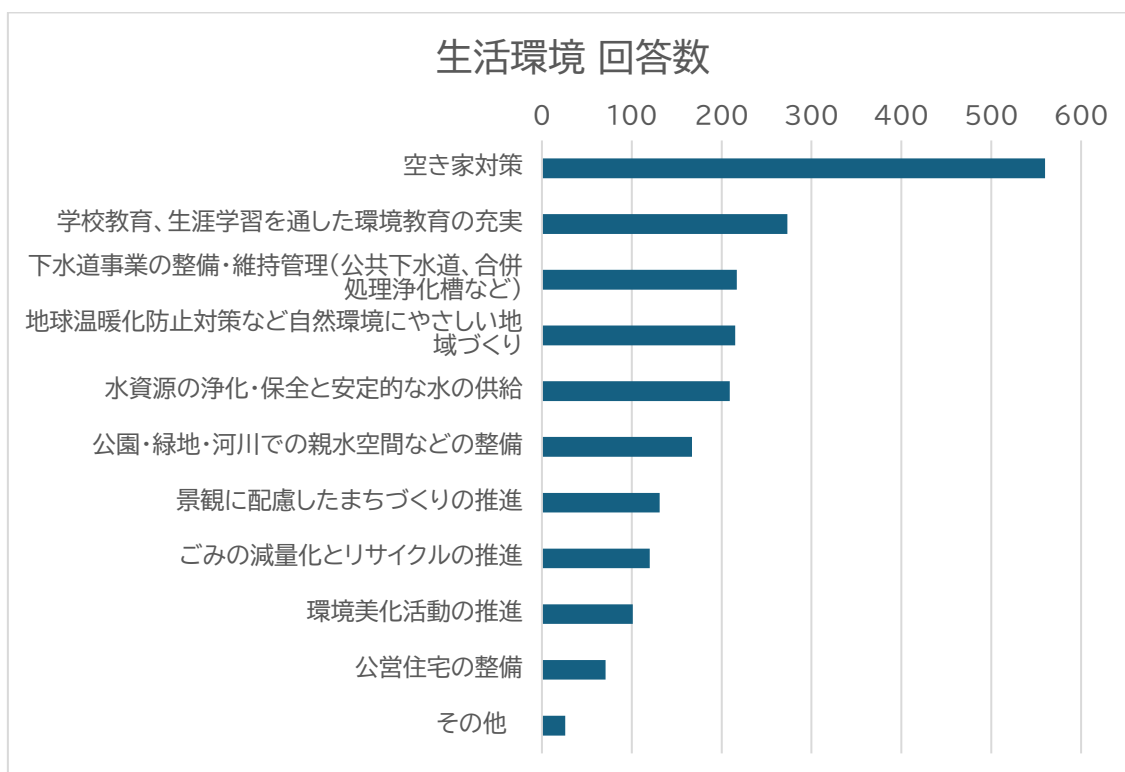
4 分野別重要度

問 6. 分野別で、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

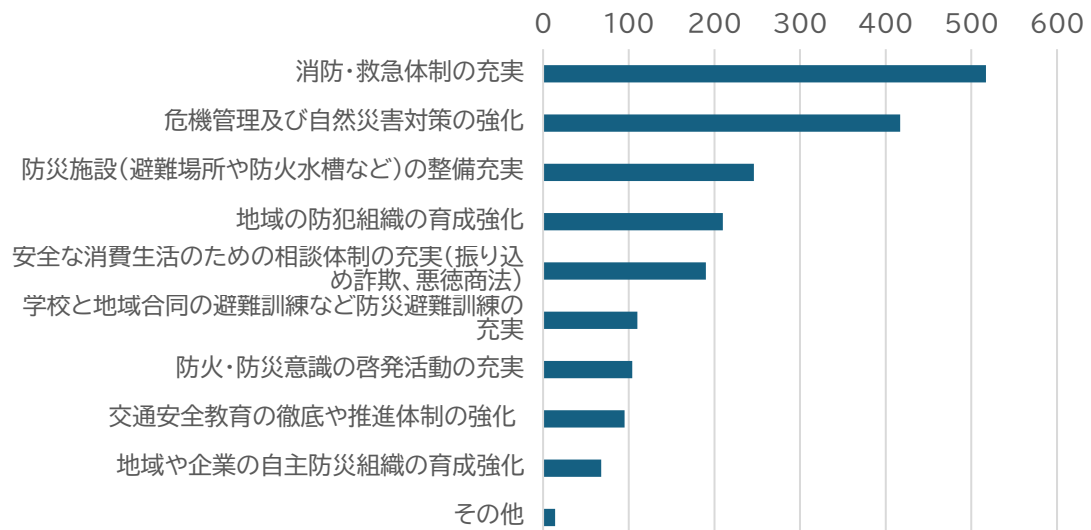
(分野ごとに2つまで○印)

分野	選択肢(分野ごとに2つまで○印)
----	------------------

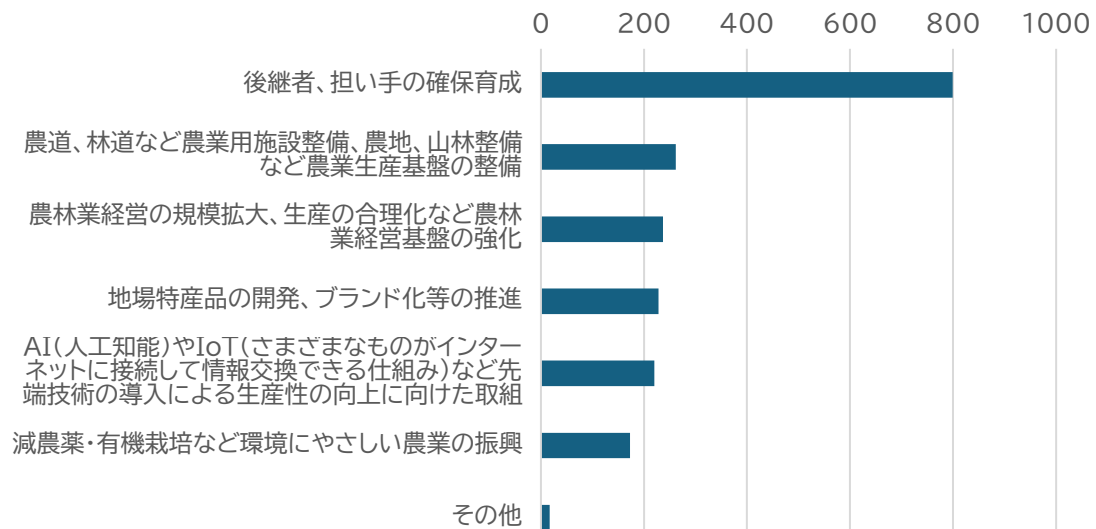
本図は、アンケート結果をもとに、今後の施策検討において、どの取組分野・内容に関心や期待が寄せられているかを把握し、優先的に検討すべき論点を整理するための参考資料として整理したものです(主に基本計画策定時に活用します)。



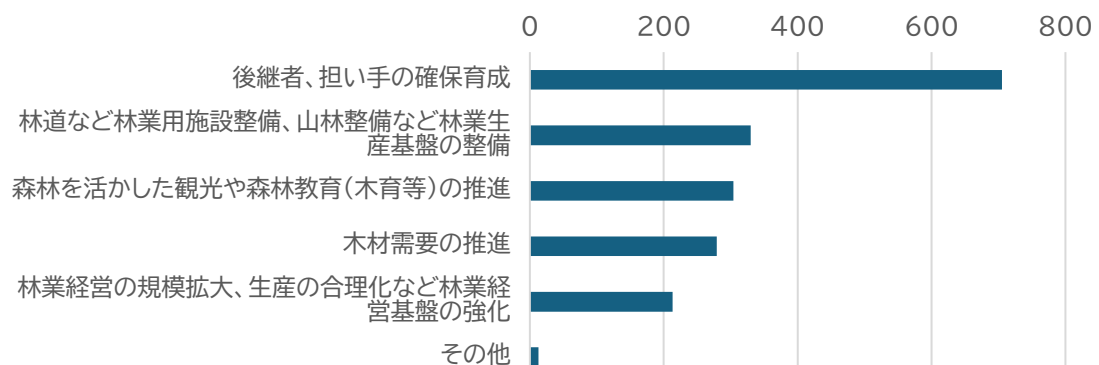
地域安全対策 回答数



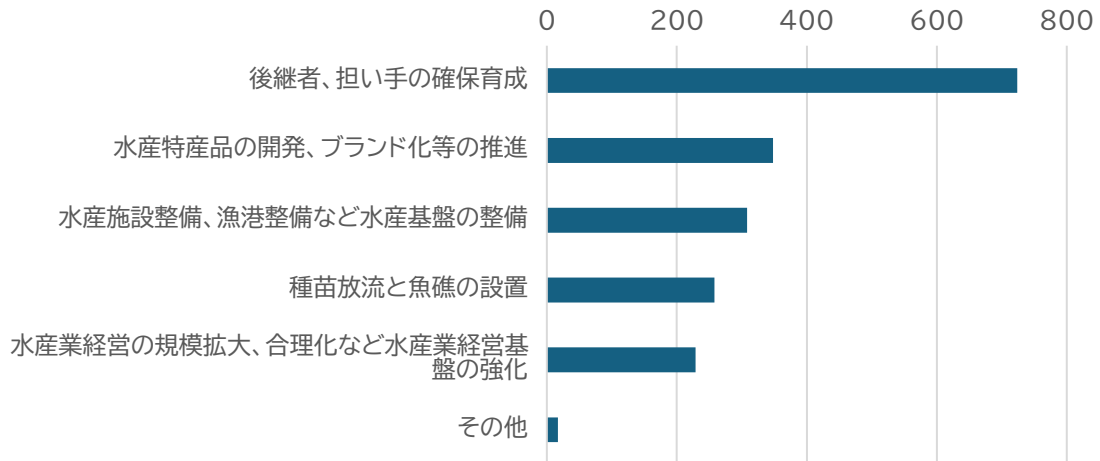
農業振興 回答数



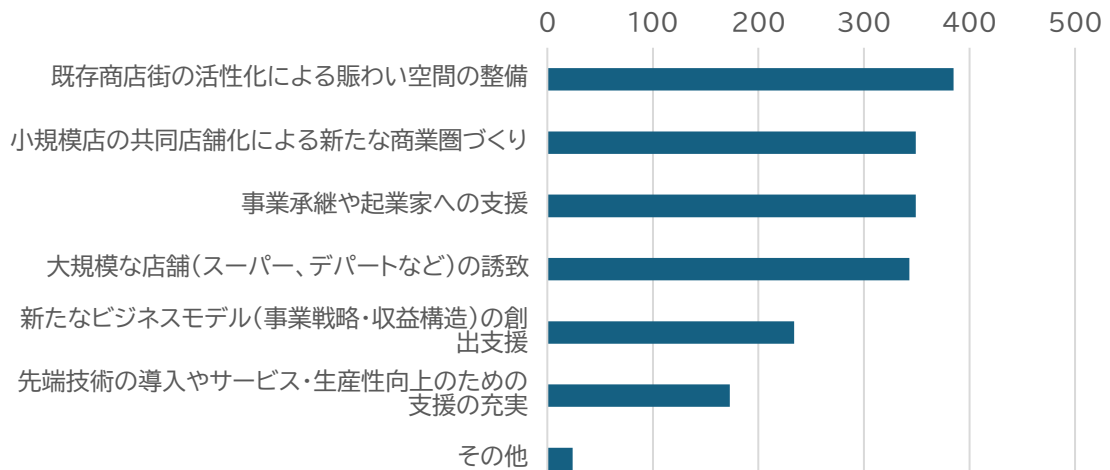
林業振興 回答数



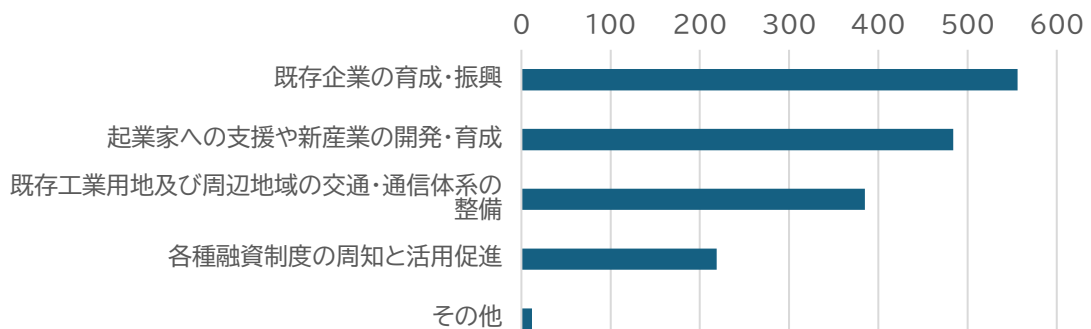
水産業振興 回答数



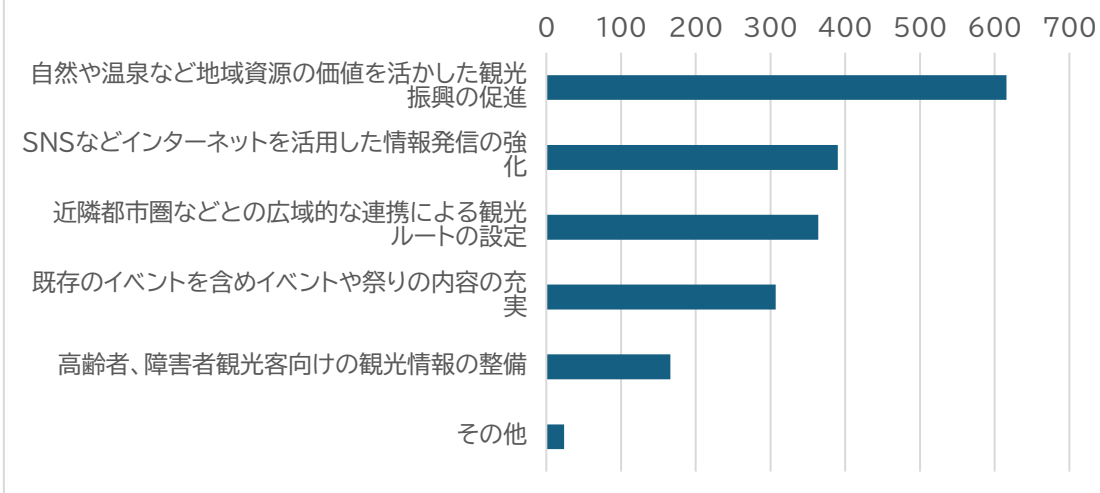
商業 回答数



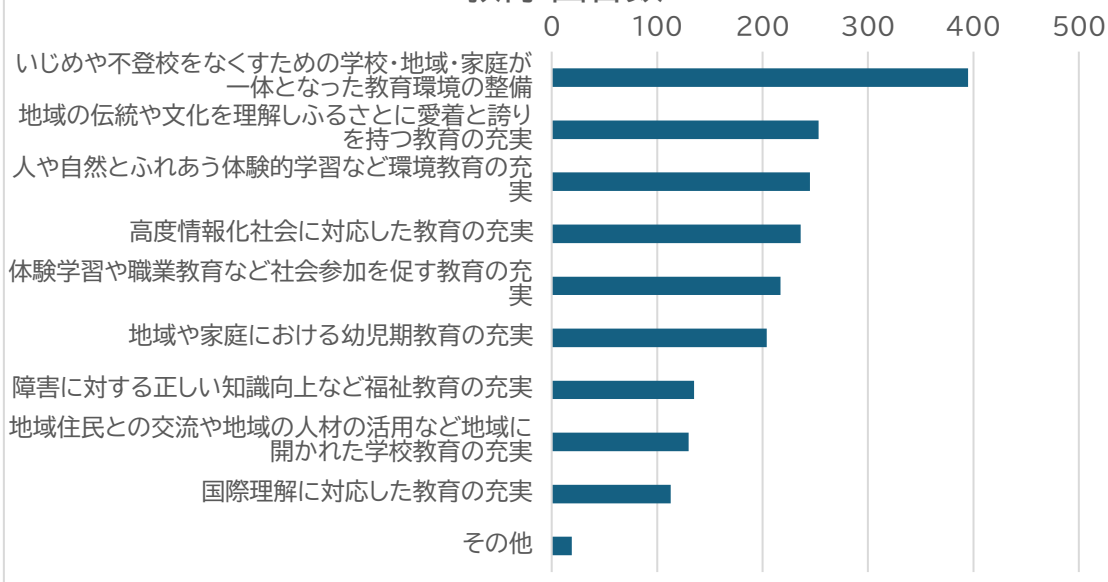
工業 回答数



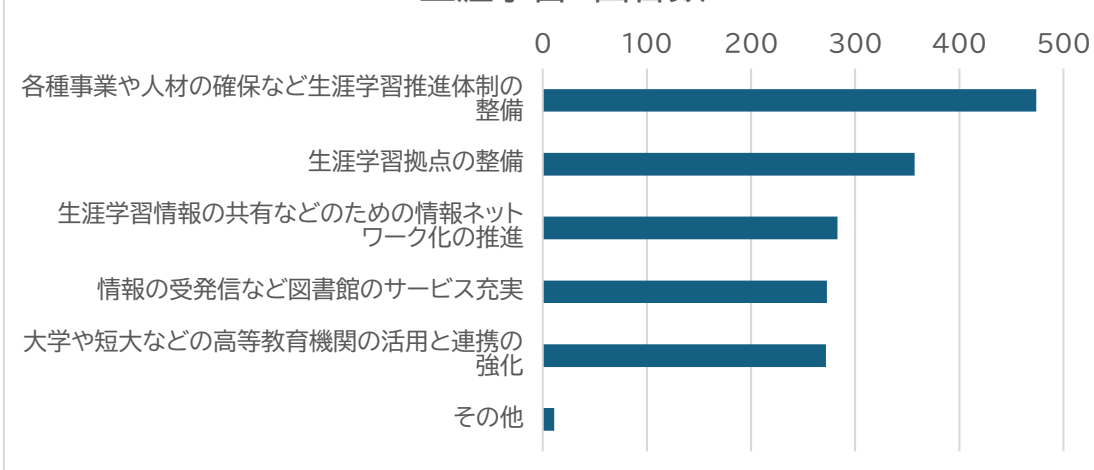
観光・レクリエーション 回答数



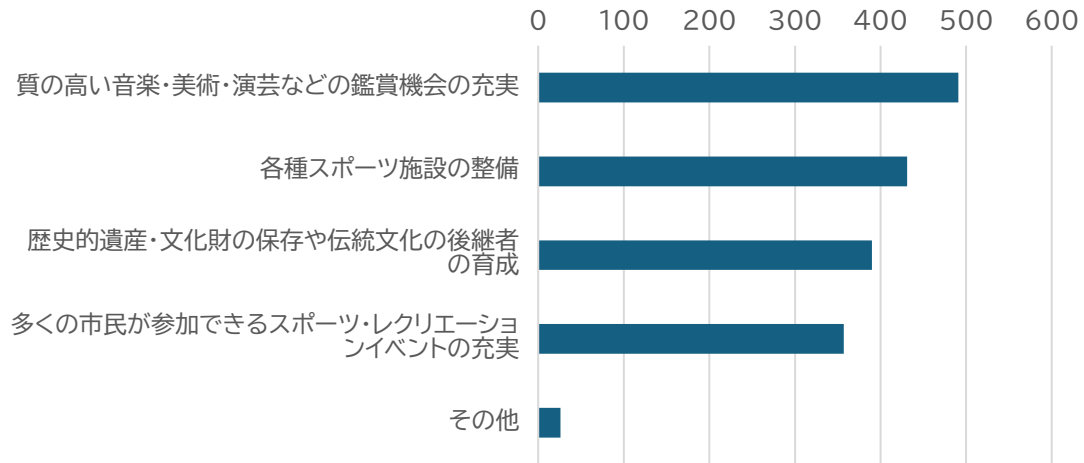
教育 回答数



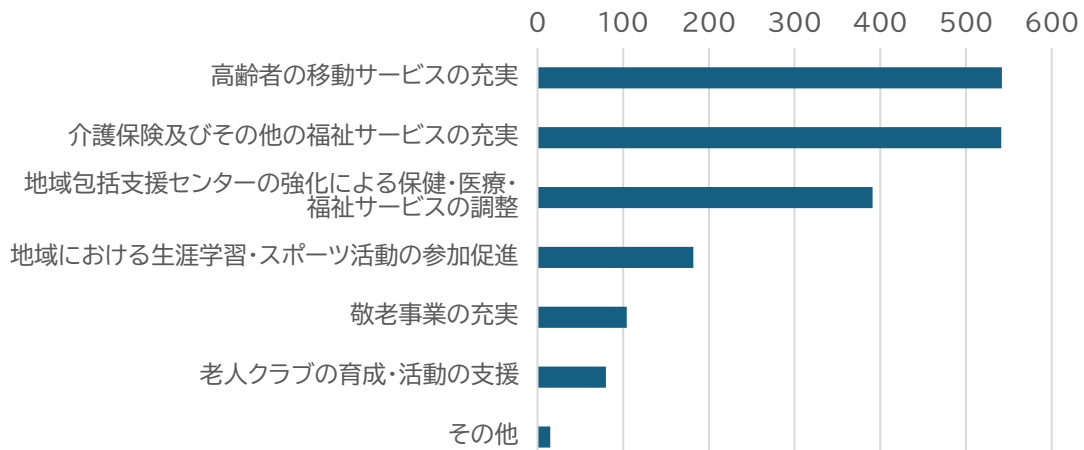
生涯学習 回答数



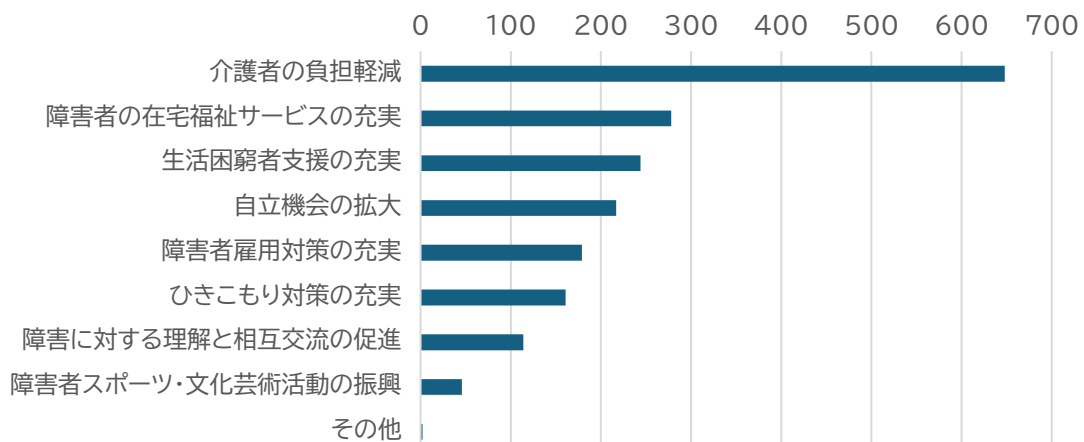
スポーツ・文化 回答数



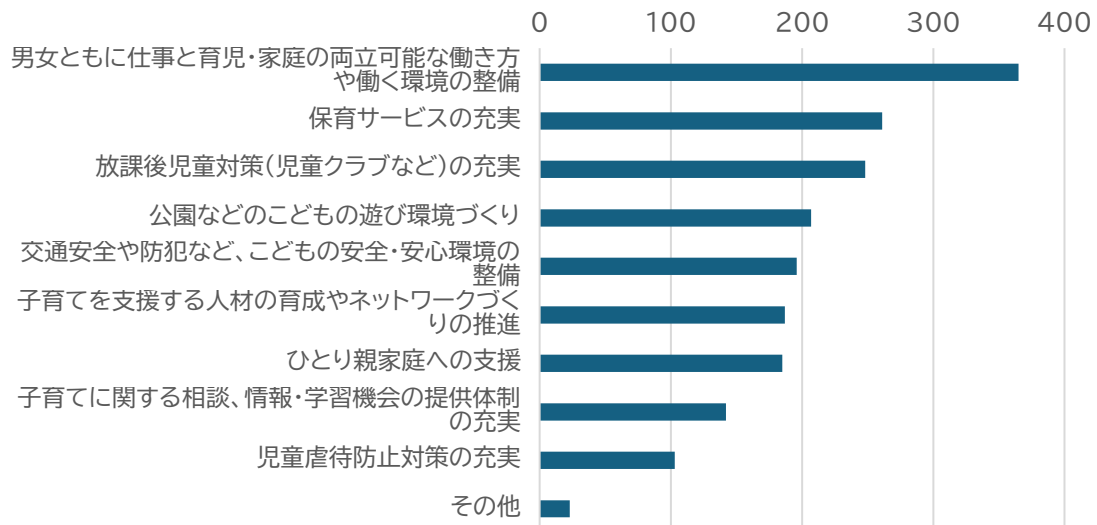
高齢福祉 回答数



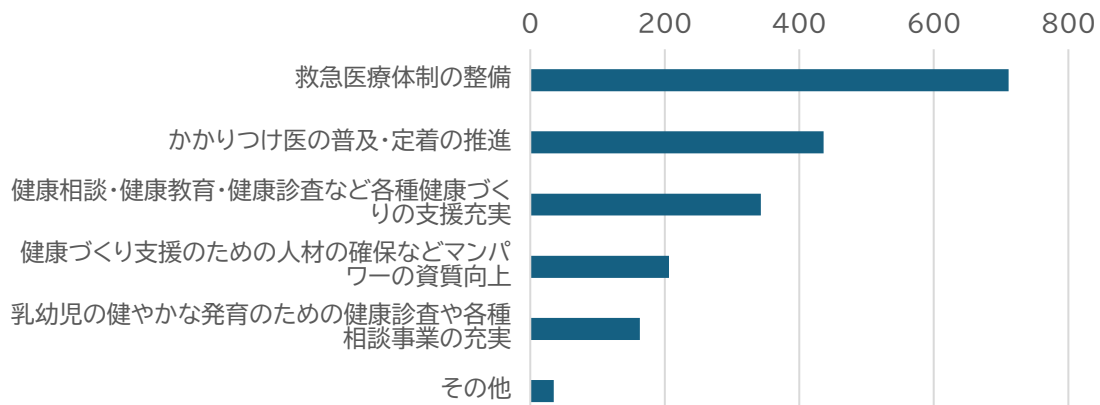
障害・地域福祉 回答数



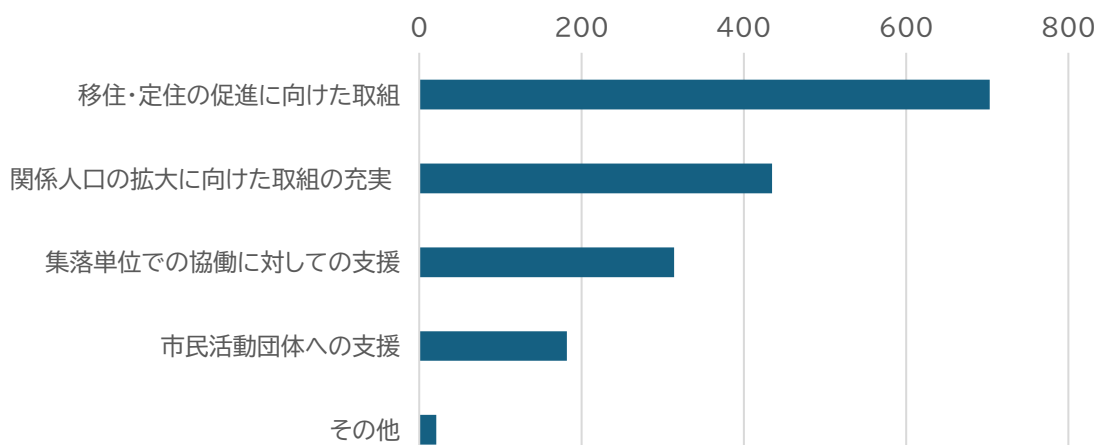
子育て 回答数



保健・医療 回答数



地域づくり 回答数



5 SDGs の認知度

問7. 今回のアンケート調査の前から「持続可能な開発目標(SDGs)」という言葉を知っていましたか。(1つに○印)

1. 持続可能な開発目標(SDGs)とはどういうことか、知っていた
2. 持続可能な開発目標(SDGs)という言葉だけ、知っていた
3. 知らなかった

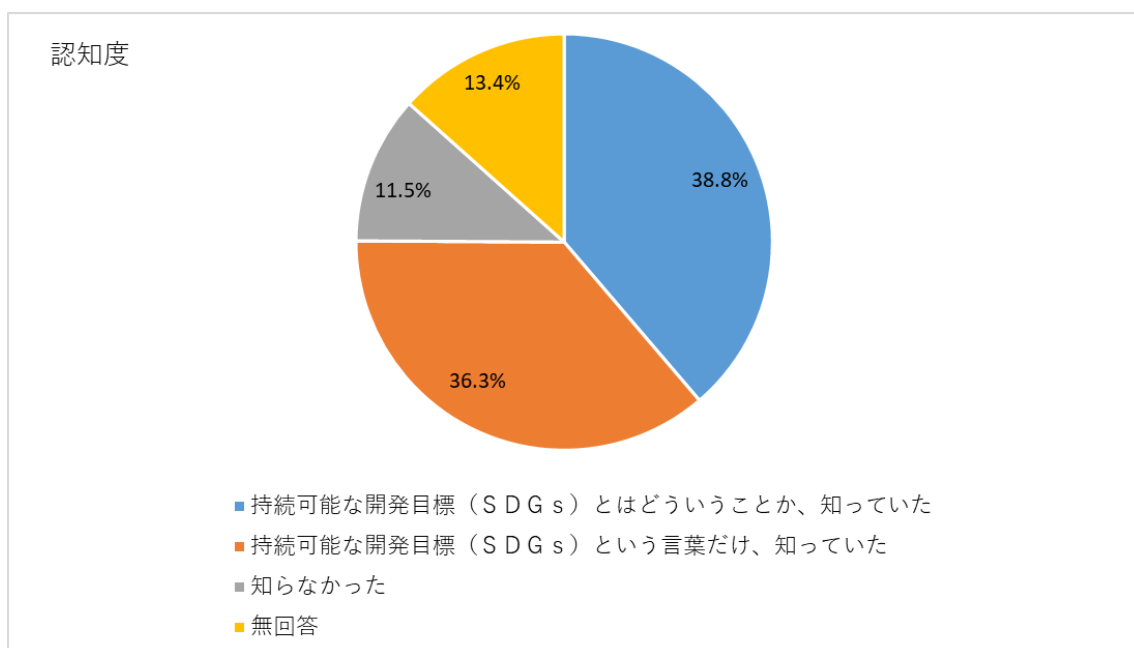
問8. 「持続可能な開発目標(SDGs)」で目指す17のゴールについて、学校や職場、自治会、家庭の中でどの程度意識されていますか？(1つに○印)

17のゴール	意識度(5段階)				
	意識している	やや意識している	どちらでもない いえない	あまり意識していない	意識していない

●全体傾向

(1)前回調査では、SDGs を認知している層(内容+言葉)は 33.6%にとどまっていたが、今回調査では 75.1%となり、認知している層は 41.5 ポイント増加しています。

また、「知らなかった」は前回の 62.8%から今回の 11.5%へと、51.3 ポイント減少しています。



区分	前回	今回	増減(pt)
内容まで知っていた	14.3%	38.8%	+24.5
言葉のみ知っていた	19.3%	36.3%	+17.0
認知あり(合計)	33.6%	75.1%	+41.5
知らなかった	62.8%	11.5%	▲51.3
無回答	3.6%	13.4%	+9.8

●個別傾向

全体としては横ばい～やや改善傾向であり、特に『⑬気候変動』『⑭海』『⑮陸』など環境分野で意識の向上が見られます。一方で『⑤ジェンダー』『①貧困』など一部項目では微減となっています。

目標	前回	今回	増減
① 1 貧困をなくそう	45.1	44.1	-1
② 2 飢餓をゼロに	51.4	51	-0.4
③ 3 すべての人に健康と福祉を	64.5	63.6	-0.9
④ 4 質の高い教育をみんなに	55.7	55.1	-0.6
⑤ 5 ジェンダー平等を実現しよう	50.8	49.1	-1.7
⑥ 6 安全な水とトイレを世界中に	54.7	58.8	4.1
⑦ 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	61.2	63.7	2.5
⑧ 8 働きがいも経済成長も	56	58.2	2.2
⑨ 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	42.9	43.8	0.9
⑩ 10 人や国の不平等をなくそう	55.7	58.1	2.4
⑪ 11 住み続けられるまちづくりを	66.6	65.5	-1.1
⑫ 12 つくる責任 つかう責任	61.2	61.1	-0.1
⑬ 13 気候変動に具体的な対策を	52.8	58.4	5.6
⑭ 14 海の豊かさを守ろう	67.8	71.1	3.3
⑮ 15 陸の豊かさを守ろう	66.7	71	4.3
⑯ 16 平和と公正をすべての人に	65.1	65.6	0.5
⑰ 17 パートナースHIPで目標を達成しよう	51.7	52.9	1.2

※各項目の数値は、回答区分のうち「1 意識している」と「2 やや意識している」の回答数を合計し、当該設問の有効回答数で除して算出しています。

6 自由意見(自慢できること)

問9. あなたにとって、長門市の「自慢できるもの」は何ですか。理由もあわせて教えてください。(場所、イベント、産業、食べ物、人柄、暮らし方、文化など)

(自慢できるもの)
(理由)

<分類別集計>

分類項目	件数	構成比
自然・景観	214件	32%
海・水産資源	133件	20%
食・特産品	108件	16%
温泉	72件	11%
観光・名所・文化	54件	8%
人柄・地域性	42件	6%
安全・安心(治安・災害)	36件	5%
子育て・暮らしやすさ	28件	4%
産業・仕事	18件	3%
イベント・行事	16件	2%
特になし・分からない	52件	8%
合計	663件	100%

自慢できるものについての自由記述回答(全 663 件)を分類した結果、「自然・景観」が 214 件(32.3%)と最も多く、次いで「海・水産資源」が 133 件(20.1%)、「食・特産品」が 108 件(16.3%)となりました。これら上位 3 分類で全体の約 7 割を占めており、本市の魅力が、自然環境や海の恵み、食といった日常的な暮らしの質に強く支えられていることがうかがえます。

7 その他自由意見(長門市の未来)

問 10. あなたや子ども達が長門市に住み続けるために、また、子育て世帯や市外の人から住みたいと思われるようなまちになるためのアイデアや考えをお聞かせください。

<分類別集計>

大分類	回答件数
①雇用・産業	155
②生活環境	81
③医療・福祉	62
④子育て	50
⑤教育・学習環境	21
⑥交通	44
⑦その他	144
合計	557

自由意見では、「雇用・産業」に関する意見が最も多く、働く場の確保や企業誘致を求める声が幅広い世代から寄せられました。次いで、「医療・福祉」「生活環境・施設」「子育て」に関する意見が多く、特に子育て世代からは公園や屋内遊び場など生活環境への具体的な要望が見られました。

【自由回答】

※本項は、自由記述の中から代表的な意見を抜粋したものです。

大分類	性別	年代	自由意見(原文)
①雇用・産業	男性	10代	依山温泉は日本の中でも有数の安全地帯なので、もっとアピールしてほしい。景観もとても美しいので、長門の強みになると思う。
①雇用・産業	女性	40代	子育て支援は充実していると感じるので大人が働ける企業がたくさんないのが残念です。老若男女が働ける会社があればみんなしっかり働いてしっかりお金を使って生活できる気がします。人口が増えないのであれば都会の人から魅力ある町だと思ってもらえる観光づくりで長門市が収入を得られると良いと思う。
①雇用・産業	男性	50代	若い人が住み続けるにはやはり雇用面が大事だと思います。企業誘致など今後大事になります。雇用が増えればその周辺のお店も良い循環も生まれる。
②生活環境	男性	10代	「住みやすさ」が大切だと思う。周りから見て、安心感がある町づくりをしていって欲しい。遊びのためにいくような場所には定住したいとは思わないため、また違ったベクトルの魅力を見つけていけないといけない。
②生活環境	女性	40代	食べるお店が少なく、家族や親族で食べに行くお店がないので、飲食店を充実してほしいです。
②生活環境	女性	60代	誰でも自由に行けるお金のかからない公園作りに力を入れてほしい。いろいろな趣味が体験できる場所があると良いと思います。趣味をみつける足掛かりになり人生が楽しくなると良いです。
③医療・福祉	女性	40代	医療の充実。休日に利用できる病院があることはすごく助かっています。子供が体調悪くて病院に連絡して診察してくれました。萩の友達も長門の病院はみてくれてすごくいいね！！と言っていました。子供を持つ親として長門に住んで良かったなあと思いました。
③医療・福祉	女性	60代	長門市は医師が段々少なくなっています。皮膚科、循環器内科、脳外科など他の市へ受診しています。今後高齢になってから不安です。夜間の二次救急の病院の当直ドクターが内科ばかりの事があり、夜、怪我をした人が困っていました。医療の充実も必要と思います。
③医療・福祉	男性	60代	健康寿命の延伸が第一と考えます。こども達には小児医療の充実、高齢者には、健康づくりのための意識づけと実践。
④子育て	女性	10代	長門市の子育て支援はとても充実していると感じるし、私も将来子育て世代となった時に長門市に帰ってきたいと思う。しかし、どれだけ支援が充実しているのか知っている人が少ない現状があると感じる。これから長門市を出ていく高校生対象や、市外、県外の人にもこの取り組みをもっと発信していくことが重要だと思う。

④子育て	女性	30代	保育園などには行かず家庭保育をしている方への支援もあれば良いなと思います。毎日、お昼ご飯はどうしようと悩まれている方、たまにはご飯を楽しみたいなと言う声を聞きます。お母さん、お父さんがたまに気晴らしができるように昼食の提供や交流の場があればいいなと思います。
④子育て	男性	40代	子どもが遊べる場所を多く作ってほしい。長門市は子育てには適した場所だと思う。
⑤教育・学習環境	女性	20代	学や就職で長門を離れていく若者が多いと思う。故郷に戻って長門のために力を注ぎたいと思えるようなキャリア教育をもっと充実させるべきだと思う。長門の魅力について考える授業や今の長門の課題にも目を向けられるような取り組みを通して自分事として考えられるような機会をつくることで、長門市がもっと盛り上がればと思う。
⑤教育・学習環境	女性	30代	小学校の人数も少ないけど、少人数だからこそ先生方の目が一人一人に目が行き届いていると思うし、イベントも出番も多く都会ではできない体験があると思う。
⑤教育・学習環境	女性	50代	商業、子供の教育など長門市独自のものがあっても良いのでは。例えば海の潜り方講座とか魚のさばき方講座とか・・・本当に例えばですが一日体験とか宿泊プランにくっつけるとか。
⑥交通	女性	10代	車を持っていない人でも、簡単に移動できるように自動車、バスをもう少し便を増やす(利用数が多い時間帯に)。
⑥交通	女性	50代	長門市に住み続けるためには高齢になっても不便をなるべく感じず住めるよう移動手段などよくなるといいなと思う。車が運転できなくなった時のことを考えると不安を感じる。
⑥交通	女性	70代以上	交通網の整備を充実してほしいです。バスや自動車など・・・(特に新幹線などと直結できる様な交通網を希望します)
⑦その他	女性	30代	綺麗な自然を保つ事と、優しい人柄が移住して良かったと思った点なので、一緒に尽力したいと思います
⑦その他	男性	30代	文化や歴史、資源など、一度失ったら取り返しがつかないものを大切にしてほしい。そして、そういったものを大切にしなければならないという思いを、子ども達が引き継いでいけるような機運の醸成が必要だと感じます。
⑦その他	男性	60代	長門最高!
⑦その他	男性	70代以上	童謡詩人金子みすゞさんの故郷が自慢です。みんなちがってみんないいの詩が大好きです。県外の人達にも長門にたくさん来てほしいです。
⑦その他	女性	70代以上	長門市を他県にPRすることです。長門市は本当に住みよい街です。私はそう思います。

あなたの声を聞かせてください。

第3次長門市総合計画策定のための住民アンケート調査のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび長門市では、まちづくりを進めるための指針となる「第3次長門市総合計画（計画期間：2027（令和9）年度～2036（令和18）年度）」の策定に向けて検討を進めています。総合計画は、まちづくりの目標となる将来像を掲げ、これを実現するための取組を具体的に示した計画で、市民の皆様と行政とが一体となって住みよいまちを実現していくための指針となる、最も重要な計画です。

本調査は、この総合計画の策定にあたり、市民の皆様のご意見を求めるために実施するもので、16歳以上の市内居住者の中から、3,000名を無作為に抽出したところ、宛名の方に回答のご協力をお願いすることとなりました。

このアンケートは統計的に処理しますので、個人が特定されることはございません。また、本調査の目的以外に利用することはありません。

お忙しいところお手数をおかけし恐縮ですが、今後の住みよい長門市を市民の皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

2025年8月

長門市長 江原 達也

ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人様がお答えください。（ご本人によるご記入が困難な場合は、ご本人のお考えをご家族の方等が代筆されてもかまいません。）
- お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお気を付けてください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①。）
- ご記入いただいた調査票は **8月29日（金）まで**に同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
- ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル又は万年筆でお願いします。
- 右下のQRコードを読み取ると、インターネットから回答できます。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

長門市 企画政策課 政策調整班
電話 0837-23-1209



インターネット回答はこちらから→

1 あなたご自身についてお聞きします。

問1. 各項目で、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1)性別	1. 男	2. 女	3. その他						
(2)年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上		
(3)居住地区	1. 通地区	2. 仙崎地区	3. 深川・渋木・真木地区	4. 俵山地区	5. 三隅地区	6. 日置地区	7. 油谷地区		
(4)職業	1. 自営業(農林漁業等従事者も含む) 2. 会社員等(公務員・会社役員・専門職含む) 3. 学生・専門学校生 4. パート・アルバイト 5. 専業主婦・主夫 6. 無職 7. その他()								
(5)家族の構成	●一緒に住んでいるご家族の人数(あなたを含めて)						人		
	●あなたと一緒に住んでいるご家族の構成(あなたを含む)について、お答えください。(あてはまるもの全てに○印) 例:ひとり暮らし高齢者は「4」を回答								
	1. 6歳未満(未就学児)のこどもがいる 2. 小学生～中学生のこどもがいる 3. 高校生のこどもがいる 4. 65歳以上の高齢者がいる 5. 心身に障害のある方がいる 6. 上記に該当なし								
(6)長門市に住んでいる年数	1. 4年以下	2. 5年以上9年以下			3. 10年以上19年以下			4. 20年以上	
(7)最も居住年数が長い市町村	1. 長門市 (旧長門市、旧三隅町、旧日置町、旧油谷町)	2. _____市町村 長門市よりも居住年数が長い場合							
(8)あなたのお住まい	1. 持ち家(戸建・マンション)	2. 民間借家			3. 公営住宅(公団・県営・市営)			4. 間借り・下宿・寮	5. その他()

2 まちの現状についてお聞きします。

問2. 長門市は住みよいまちですか。(1つに○印)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあまあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよいとはいえない | 5. 住みにくい | |

問3. あなたは、長門市に愛着を感じていますか。(1つに○印)

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 愛着を感じる | 2. 愛着は感じない | 3. どちらともいえない |
|-----------|------------|--------------|

問4. あなたは、これからも長門市に住みたいと思いますか。(1つに○印)

- | |
|---------------------------------|
| 1. このままずっと長門市で暮らす |
| 2. 一度は、市外へ転出すると思うが、いずれは長門市で暮らす |
| 3. 多分、市外へ転出すると思う(長門市では暮らさないと思う) |
| 4. わからない |

※問4で「1」「2」に ○印 をつけた方にかがいます。

問4-1. その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 親・親族がいるから | 2. 家や土地があるから |
| 3. 地域や人に愛着があるから | 4. 生活の便が良いから |
| 5. 居住環境が良いから | 6. 老後を長門で暮らしたいから |
| 7. やりたい仕事があるから | 8. 子育て環境や教育環境が良いから |
| 9. その他() | |

※問4で「3」に ○印 をつけた方にかがいます。

問4-2. 市外へ転出すると思う理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 市外に親・親族がいるから | 2. 家や土地が取得できないから |
| 3. 地域や人になじめないから | 4. 日常生活の便が悪いから |
| 5. 居住環境が悪いから | 6. 老後に不安があるから |
| 7. やりたい仕事がないから | 8. 子育て環境や教育環境が不安だから |
| 9. その他() | |

問5. 市の現状について、①満足度、②重要度を分野ごとにおたずねします。それぞれ項目ごとにお答えください。

①あなたは、各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ〇をつけてください。

②あなたは、各項目についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に1つ〇をつけてください。

		①満足度					②重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記載例 ○〇の整備がされている		1	2	3	④	5	1	②	3	4	5
生活環境・自然・景観	1 資源のリサイクル対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 新エネルギー、省エネルギーの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 ごみの収集・処理対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 上下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5 都市公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6 広域的な道路の整備(国道・県道など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 市道など地域の生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8 歩道の拡幅・バリアフリー化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 バス交通網の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 デマンド交通網の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 公営住宅の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12 消防・防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 地震・台風などの災害対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14 防犯対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15 交通安全対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16 棚田や森などの自然景観・環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17 まち並み、沿道景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		①満足度					②重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
産業・観光	18 企業誘致、雇用の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 農林業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20 水産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 自然・農業などの体験型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 温泉など滞在型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 イベント・祭りなどの反復型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25 地域特産物のブランド化・PR	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 周辺市との広域観光ネットワークの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
教育・スポーツ・文化	27 幼児教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29 生涯学習の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30 スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31 文化・芸術活動の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32 文化財の保存・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療・保健・福祉	33 地域医療対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34 救急・高度医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35 特定健診・がん検診の実施など健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36 地域福祉(地域住民による助け合い活動など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38 障害者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39 保育サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40 地域子育て支援対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41 低所得世帯に対する福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42 福祉相談の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		①満足度					②重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
人づくり・交流	43 人権啓発・人権教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45 地域情報化(IT化)の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46 地域間交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47 国際交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政・自治	48 市政に関する情報提供や情報公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49 市政に対する住民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	50 生活に関する相談窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	51 健全な財政運営や行政改革の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	52 地域のコミュニティ活動に対する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	53 ボランティアやNPOなどの育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 分野別であなたのお考えをお聞きます。

問 6. 分野別で、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(分野ごとに2つまで○印)

分野	選択肢(分野ごとに2つまで○印)
1 生活環境	1. 公営住宅の整備 2. 公園・緑地・河川での親水空間などの整備 3. 環境美化活動の推進 4. 景観に配慮したまちづくりの推進 5. 学校教育、生涯学習を通じた環境教育の充実 6. 地球温暖化防止対策など自然環境にやさしい地域づくり 7. ごみの減量化とリサイクルの推進 8. 水資源の浄化・保全と安定的な水の供給 9. 下水道事業の整備・維持管理(公共下水道、合併処理浄化槽など) 10. 空き家対策 11. その他(具体的に:)

分野	選択肢(分野ごとに2つまで○印)
2 交通環境	1. 山陰道の整備など国道・県道など地域内道路網の整備 2. 歩道拡幅や高齢者などが安心して通行できる生活道路の整備 3. 公共交通の整備 4. 地域交通の整備(買い物支援などの交通弱者対策) 5. その他(具体的に:)
3 地域安全対策	1. 消防・救急体制の充実 2. 防火・防災意識の啓発活動の充実 3. 学校と地域合同の避難訓練など防災避難訓練の充実 4. 地域や企業の自主防災組織の育成強化 5. 危機管理及び自然災害対策の強化 6. 防災施設(避難場所や防火水槽など)の整備充実 7. 交通安全教育の徹底や推進体制の強化 8. 地域の防犯組織の育成強化 9. 安全な消費生活のための相談体制の充実(振り込め詐欺、悪徳商法) 10. その他(具体的に:)
4 農業振興	1. 農道、林道など農業用施設整備、農地、山林整備など農業生産基盤の整備 2. 農林業経営の規模拡大、生産の合理化など農林業経営基盤の強化 3. 後継者、担い手の確保育成 4. 地場特産品の開発、ブランド化等の推進 5. AI(人工知能)や IoT(さまざまなものがインターネットに接続して情報交換できる仕組み)など先端技術の導入による生産性の向上に向けた取組 6. 減農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興 7. その他(具体的に:)
5 林業振興	1. 林道など林業用施設整備、山林整備など林業生産基盤の整備 2. 林業経営の規模拡大、生産の合理化など林業経営基盤の強化 3. 後継者、担い手の確保育成 4. 木材需要の推進 5. 森林を活かした観光や森林教育(木育等)の推進 6. その他(具体的に:)
6 水産業振興	1. 水産施設整備、漁港整備など水産基盤の整備 2. 種苗放流と魚礁の設置 3. 水産業経営の規模拡大、合理化など水産業経営基盤の強化 4. 後継者、担い手の確保育成 5. 水産特産品の開発、ブランド化等の推進 6. その他(具体的に:)

分野	選択肢(分野ごとに2つまで○印)
7 商業	1. 既存商店街の活性化による賑わい空間の整備 2. 小規模店の共同店舗化による新たな商業圏づくり 3. 大規模な店舗(スーパー、デパートなど)の誘致 4. 新たなビジネスモデル(事業戦略・収益構造)の創出支援 5. 先端技術の導入やサービス・生産性向上のための支援の充実 6. 事業承継や起業家への支援 7. その他(具体的に:)
8 工業	1. 既存工業用地及び周辺地域の交通・通信体系の整備 2. 既存企業の育成・振興 3. 起業家への支援や新産業の開発・育成 4. 各種融資制度の周知と活用促進 5. その他(具体的に:)
9 観光・ レクリエーション	1. 近隣都市圏などとの広域的な連携による観光ルートの設定 2. SNSなどインターネットを活用した情報発信の強化 3. 自然や温泉など地域資源の価値を活かした観光振興の促進 4. 既存のイベントを含めイベントや祭りの内容の充実 5. 高齢者、障害者観光客向けの観光情報の整備 6. その他(具体的に:)
10 教育	1. 地域や家庭における幼児期教育の充実 2. いじめや不登校をなくすための学校・地域・家庭が一体となった教育環境の整備 3. 高度情報化社会に対応した教育の充実 4. 国際理解に対応した教育の充実 5. 人や自然とふれあう体験的学習など環境教育の充実 6. 障害に対する正しい知識向上など福祉教育の充実 7. 地域住民との交流や地域の人材の活用など地域に開かれた学校教育の充実 8. 体験学習や職業教育など社会参加を促す教育の充実 9. 地域の伝統や文化を理解しふるさとに愛着と誇りを持つ教育の充実 10. その他(具体的に:)
11 生涯学習	1. 各種事業や人材の確保など生涯学習推進体制の整備 2. 大学や短大などの高等教育機関の活用と連携の強化 3. 生涯学習情報の共有などのための情報ネットワーク化の推進 4. 生涯学習拠点の整備 5. 情報の受発信など図書館のサービス充実 6. その他(具体的に:)
12 文化スポーツ	1. 質の高い音楽・美術・演芸などの鑑賞機会の充実 2. 歴史的遺産・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 3. 多くの市民が参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの充実 4. 各種スポーツ施設の整備 5. その他(具体的に:)

分野	選択肢(分野ごとに2つまで○印)
13 保健・医療	1. 健康相談・健康教育・健康診査など各種健康づくりの支援充実 2. 健康づくり支援のための人材の確保などマンパワーの資質向上 3. 乳幼児の健やかな発育のための健康診査や各種相談事業の充実 4. かかりつけ医の普及・定着の推進 5. 救急医療体制の整備 6. その他(具体的に:)
14 高齢福祉	1. 敬老事業の充実 2. 地域における生涯学習・スポーツ活動の参加促進 3. 介護保険及びその他の福祉サービスの充実 4. 地域包括支援センターの強化による保健・医療・福祉サービスの調整 5. 老人クラブの育成・活動の支援 6. 高齢者の移動サービスの充実 7. その他(具体的に:)
15 障害・地域福祉	1. 障害者の在宅福祉サービスの充実 2. 介護者の負担軽減 3. 自立機会の拡大 4. 障害者雇用対策の充実 5. 障害に対する理解と相互交流の促進 6. 障害者スポーツ・文化芸術活動の振興 7. 生活困窮者支援の充実 8. ひきこもり対策の充実 9. その他(具体的に:)
16 子育て	1. 保育サービスの充実 2. 放課後児童対策(児童クラブなど)の充実 3. 子育てに関する相談、情報・学習機会の提供体制の充実 4. ひとり親家庭への支援 5. 男女ともに仕事と育児・家庭の両立可能な働き方や働く環境の整備 6. 公園などのこどもの遊び環境づくり 7. 交通安全や防犯など、こどもの安全・安心環境の整備 8. 児童虐待防止対策の充実 9. 子育てを支援する人材の育成やネットワークづくりの推進 10. その他(具体的に:)
17 地域づくり	1. 移住・定住の促進に向けた取組 2. 関係人口の拡大に向けた取組の充実 3. 集落単位での協働に対しての支援 4. 市民活動団体への支援 5. その他(具体的に:)






4 持続可能な開発目標(SDGs)についてお聞きします

持続可能な開発目標(SDGs)は、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成期間とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



問7. 今回のアンケート調査の前から「持続可能な開発目標(SDGs)」という言葉を知っていましたか。(1つに○印)

1. 持続可能な開発目標(SDGs)とはどういうことか、知っていた
2. 持続可能な開発目標(SDGs)という言葉だけ、知っていた
3. 知らなかった

問8. 「持続可能な開発目標(SDGs)」で目指す17のゴールについて、学校や職場、自治会、家庭の中でどの程度意識されていますか？(1つに○印)

17のゴール		意識度(5段階)				
		意識している	やや意識している	どちらともいえない	あまり意識していない	意識していない
	1 貧困をなくそう 地球上のあらゆる形の貧困をなくそう	1	2	3	4	5
	2 飢餓をゼロに 飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守りながら農業を進めよう	1	2	3	4	5
	3 すべての人に健康と福祉を だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしましょう	1	2	3	4	5
	4 質の高い教育をみんなに だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう	1	2	3	4	5
	5 ジェンダー平等を実現しよう 男女平等を実現し、すべての女性と女児の能力を伸ばし可能性を広げよう	1	2	3	4	5

意識度(5段階)		意識している	やや意識している	ごくわずか	あまり意識していない	意識していない
17のゴール						
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう</p>	1	2	3	4	5
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう</p>	1	2	3	4	5
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8 働きがいも経済成長も みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう</p>	1	2	3	4	5
 <p>9 産業と技術革新の基礎をつくろう</p>	<p>9 産業と技術革新の基礎をつくろう 災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう</p>	1	2	3	4	5
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう 世界中から不平等を減らそう</p>	1	2	3	4	5
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを だれもがずっと安全に暮らせて災害にも強いまちをつくろう</p>	1	2	3	4	5
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任 生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう</p>	1	2	3	4	5
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を 気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう</p>	1	2	3	4	5
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう 海の資源を守り、大切に使おう</p>	1	2	3	4	5

意識度(5段階)		意識している	やや意識している	どちらでもない	あまり意識していない	意識していない
	15 緑の豊かさも守ろう 陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う	1	2	3	4	5
	16 平和と公正をすべての人に 平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう	1	2	3	4	5
	17 パートナーシップで目標を達成しよう 世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう	1	2	3	4	5

5 長門市の「自慢できるもの」について(自由意見)

問9. あなたにとって、長門市の「自慢できるもの」は何ですか。理由もあわせて教えてください。(場所、イベント、産業、食べ物、人柄、暮らし方、文化など)

(自慢できるもの)

(理由)

6 未来の長門市に向けた 100 文字提言(自由意見)

問 10. あなたや子ども達が長門市に住み続けるために、また、子育て世帯や市外の人から住みたいと思われるようなまちになるためのアイデアや考えをお聞かせください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。